



# Smart-Channel の設定

この章では、Cisco NX-OS デバイスでスマートチャネルを構成する方法について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- スマートチャネルの有効化 (1 ページ)
- ポートグループの構成 (2 ページ)
- スマートチャネルサービスの構成 (3 ページ)
- スマートチャネル構成の確認 (5 ページ)

## スマートチャネルの有効化

デバイスでスマートチャネルサービスを構成する前に、スマートチャネル機能を有効にする必要があります。

### 手順の概要

1. **configure terminal**
2. [no] **feature smart-channel**
3. (任意) **show feature | grep smart-channel**
4. (任意) **copy running-config startup-config**

### 手順の詳細

#### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b>  例： <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル設定モードを開始します。

## ポート グループの構成

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	[no] <b>feature smart-channel</b> 例： <pre>switch(config)# feature smart-channel</pre>	Smart Call Home を有効または無効にします。デフォルトでは、Smart Call Home は無効です。
ステップ 3	(任意) <b>show feature   grep smart-channel</b> 例： <pre>switch(config-if)# show feature   grep smart-channel</pre>	スマートチャネル構成のステータスを表示します。
ステップ 4	(任意) <b>copy running-config startup-config</b> 例： <pre>switch(config)# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

## ポート グループの構成

スマートチャネルを有効にした後、ポート グループを作成し、そのグループでアクティブインターフェイスを設定する必要があります。

### 手順の概要

1. **configure terminal**
2. [no] **smart-channel port-group port-group-name**
3. **interface ethernet type slot/port**
4. (任意) **copy running-config startup-config**

### 手順の詳細

#### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b> 例： <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバルコンフィギュレーション モードを開始します
ステップ 2	[no] <b>smart-channel port-group port-group-name</b> 例： <pre>switch(config)# smart-channel port-group Webservers switch(config-port-group) #</pre>	ポート グループを作成または削除します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	必須: <b>interface ethernet type slot/port</b> 例:  switch(config)# interface ethernet 3/1 switch(config-if)#	ポートグループのアクティブインターフェイスを設定します。
ステップ 4	(任意) <b>copy running-config startup-config</b> 例:  switch(config-port-group)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

## スマートチャネルサービスの構成

スマートチャネルサービスを構成するには、次の手順を実行する必要があります。

1. サービス名を構成します。
2. VLAN/ソース/接続先フィルタを構成します
3. ポートグループを ITD-L2 サービスに関連付けます
4. 負荷分散スキームを指定する
5. スマートチャネルサービスをアクティベートします

### 始める前に

スマートチャネルサービスを構成する前に、スマートチャネル機能を有効にする必要があります。



(注) Cisco Nexus NX-OS リリース 9.3(3) 以降、スマートチャネル機能はサポートされていません。以前のリリースから 9.3(2) 以降のバージョンにアップグレードするときに、必要なアクションを実行することをお勧めします。

### 手順の概要

1. **configure terminal**
2. [no] **smart-channel service-name**
3. [no] **access vlan access-vlan | vlan vlan-range**
4. [no] **port group port-group-name**
5. [no] **load-balance method [src | dst]**
6. [no] **destination filter ip any [any]**
7. [no] **source filter [ipanyany]**

## スマートチャネルサービスの構成

8. [no] **load-balance method [src | dst]** Bucket B
9. **no shut**

## 手順の詳細

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<b>configure terminal</b>  例：  switch# configure terminal switch(config)#	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します
ステップ2	必須: [no] <b>smart-channel service-name</b>  例：  switch(config)# smart-channel WebTraffic switch(config-smart-channel)#{/td> <td>スマートチャネルサービスを構成または無効にします。</td>	スマートチャネルサービスを構成または無効にします。
ステップ3	[no] <b>access vlan access-vlan   vlan vlan-range</b>  例：  switch(config-smart-channel)#{ access vlan 10-20 switch(config-port-group)#{/td> <td>ITD-L2サービスのVLANのリストを構成します。アクセスVLANはアクセスモードでスマートチャネルを作成しますが、VLAN範囲内のVLANはトランクモードでスマートチャネルを作成します。</td>	ITD-L2サービスのVLANのリストを構成します。アクセスVLANはアクセスモードでスマートチャネルを作成しますが、VLAN範囲内のVLANはトランクモードでスマートチャネルを作成します。
ステップ4	[no] <b>port group port-group-name</b>  例：  switch(config-smart-channel)#{ port group WEBSERVERS switch(config-smart-channel)#{/td> <td>ポートグループをITD-L2サービスに関連付けます。</td>	ポートグループをITD-L2サービスに関連付けます。
ステップ5	[no] <b>load-balance method [src   dst]</b>  例：  switch(config-smart-channel)#{ load-balance method src-ip switch(config-smart-channel)#{/td> <td>負荷分散メソッドを構成します。</td>	負荷分散メソッドを構成します。
ステップ6	[no] <b>destination filter ip any [any]</b>  例：  switch(config-smart-channel)#{ destination filter ip any any switch(config-smart-channel)#{/td> <td>選択した接続先サブネットを構成します。</td>	選択した接続先サブネットを構成します。
ステップ7	[no] <b>source filter [ipanyany]</b>  例：  switch(config-smart-channel)#{ source filter ip any any switch(config-smart-channel)#{/td> <td>選択した送信元サブネットを構成します。</td>	選択した送信元サブネットを構成します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 8	<b>[no] load-balance method [src   dst] Bucket B</b>  例： <pre>switch(config-smart-channel)# load-balance method src Bucket 16 switch(config-port-group)#+</pre>	負荷分散メソッドを構成します。
ステップ 9	<b>no shut</b>  例： <pre>switch(config-smart-channel)# no shut switch(config-smart-channel)#+</pre>	スマート チャネル サービスを有効にします。

## スマート チャネル構成の確認

### スマート チャネルの表示コマンド

スマート チャネル構成を表示するには、次のいずれかの作業を行います。

#### 手順の概要

1. **show smart-channel service-name**
2. **show vlan access-list vlan access-map name**
3. **show running-config smart-channel [all]**

#### 手順の詳細

##### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>show smart-channel service-name</b>	スマート チャネルの構成状態を表示します。
ステップ 2	<b>show vlan access-list vlan access-map name</b>	スマート チャネル サービスの統計情報を表示します。
ステップ 3	<b>show running-config smart-channel [all]</b>	スマート チャネルの実行コンフィギュレーションを表示します。

■ スマート チャンネル構成の確認

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。